

「核兵器のない世界」をめざして! いま、私たちにできること

世界唯一の戦争被爆国としての
責任と役割を問う

第1部 記念講演

再び被爆者をつくり出さないために、
核兵器廃絶をみんなの力で!

核兵器禁止条約の早期署名・批准を求めましょう!!

講師

きと すえいち

木戸 季市さん



被爆者・講話者
日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)事務局長

2023年

11月2日(木)

13:00~16:00

開催方法 リアル参加とオンライン併用開催

〈会場〉 ※見逃し配信あり

東京都生協連会館

3階会議室

〒164-0011 中野区中央5丁目41-18

最寄り駅: JR中野(東京都)駅[南口]徒歩5分



参加費 1,500円 (障害者・学生 1,000円)

■手話通訳・文字通訳・点字資料(要約版)・テキストデータ

お申込みQRコード



◇お願い 会場のリアル参加は、コロナ感染防止上、
定員を60名とします。定員になり次第、
オンライン参加をお願いすることになります。

◇お申込みの詳細は、次頁(裏面)をご覧ください。

お申込みフォーム

<https://forms.gle/xiYkRGEz6wVWe7x68>

ロシアによる核兵器使用の威嚇など、ウクライナ侵略が続いています。世界には、約1万2500発の核兵器が存在しています。核保有国とその同盟国は、核軍縮どころか、安全保障にとって「唯一無二の存在」として、さらに核兵器にしがみついています。

一方、核兵器廃絶を求める核兵器禁止条約の署名・批准国が広がりつつあり、「核兵器のない世界」を求める世論と行動が強まっています。世界唯一の戦争被爆国・日本の責任と役割が問われていますが、政府はアメリカの「傘の下」で、「安保3文書」の閣議決定、防衛2法の強行、そして改憲策動など、「戦争する国づくり」政策を推し進めています。防衛財源の確保のために、国民負担増・給付切り下げのさらなる社会保障「改革」が強められようとしています。まさに、暮らしと平和のあり様が、いま大きく問われています。

戦後78年。被爆者はもちろん、悲惨な戦争経験を語る方々が消えつつある時、「語り継ぐ」作業と2度と戦争を許さない決意と行動が今日ほど私たちに求められている時はありません。



第2部 パネルディスカッション

『語り合おう!戦争・核兵器、そして平和・憲法』

コーディネーター 藤井 克徳さん(JD代表)

コメンテーター 木戸 季市さん(被爆者)

パネリスト

田丸 敬一郎さん(全盲 認定NPO法人難民を助ける会職員)

加藤 美侑さん(広島出身 東京大学1年生)

中村 尚子さん(NPO法人発達保障研究センター理事長)

J D憲法と障害者2023（11月2日開催）お申込み

FAX 発信先 **03-5287-2347**（J D事務局）

お申込み用紙にご記入の上、FAXまたはEメールにてお送りください。

※ウェブ受付をしています。QRコードもご利用ください。

<https://forms.gle/xiYkRGEz6wVWe7x68>



QRコード

■参加費：1500円（障害者・学生1000円）

以下の口座に10月27日までにご送金ください（遅れる場合はご一報ください）。

・送金手数料はご負担をお願いします。

・ご欠席時の払戻しは致しませんのでご了承ください。

◎郵便振替口座 00120-2-70876

◎ゆうちょ銀行（当座）〇一九（ゼロイチキュウ）店 70876

※上記2つの口座名義はいずれも日本障害者協議会

◎巢鴨信用金庫 早稲田支店（普）3116627

口座名義 トクヒ ニホンショウガイシャキョウギカイ

※参加費を事前納入していただいた方に資料・URLを送信します。

※見逃し配信あり

----- お申込み用紙 -----

申込日 月 日

一般・障害者・学生

※参加費に関わるため○で囲んでください。

参加方法 会場・オンライン

※会場定員が60名のため、どちらの参加か選んでください。

お名前（ふりがな）

所属団体（ある場合）

メールアドレス

住所〒 -

電話番号（携帯電話）

■障害の理由で必要な方は○で囲んでください。

手話通訳 ・ 文字通訳 ・ 点字資料(要約版) ・ テキストデータ

----- お申込み・お問合せ -----

認定 NPO 法人 日本障害者協議会（J D）

〒162-0052 東京都新宿区戸山 1-22-1 Eメール office@jdnet.gr.jp

TEL03-5287-2346 FAX03-5287-2347